

健康推進員向け研修会

先日、日出町の健康推進課さんからご依頼を受けまして、健康推進員さん向けの研修会を行いました。(株)ナガヨシさんと一緒に、歩容解析アプリ「トルト」を使って、健康教室で実際に行っている様子を体験して頂きました。「自身の歩行状態を可視化する事で運動に対する動機付けができた。」「今後サロンに活用していきたい。」などのご意見を頂きました。トルトは、タブレットやスマートフォンを使って、5m程度歩いている姿を撮影するだけで、転倒と関係が深い、『速度・リズム・ふらつき・左右差』の4つの視点で点数化してくれます。それを見ながら運動指導を行うので、より理解が深まったのではないかと思います。



高齢者とデジタルの融和



若干余談になってしまいますが、皆さんエコーショーってご存じでしょうか？
 実は私の祖母に購入したもののなんですが、殆ど独りで過ごす事が多く、寂しさや消極的な発言が最近多く聞かれた為購入してみました。祖母は操作する必要がなく、こちらが携帯電話から呼びかけると、テレビ電話が開始されます。プライバシーを守る為、置く位置には気を付けなければいけません。遠くにいて近くにいるような感覚になります。アレクサの機能もある為、最近は自分で音楽をかける事ができ、以前と比べてとても表情が明るくなりました。更には、調理や皿洗いなど今までしなかった事をするようになったりと変化がみられてきて、とても驚いています。

リハビリコラム

作業療法のリーズニングとは？

リーズニングとは作業療法士の思考プロセスの事で、どのように考え行動するのか言語化するのに役立ちます。特に作業療法はセラピストがどういった思考で今どんなアプローチをしているのか、第三者から見ると分かりにくいと言われる事が多いです。その為、リーズニングを理解し、思考過程を表現する力が必要と感じています。ここでは、簡単に作業療法士の頭の中を覗いてみましょう。リーズニングはいくつかの種類に分けられ、ここでは、科学的リーズニング、物語のリーズニング、実際のリーズニング、倫理的リーズニング、相互交流的リーズニングの5種類を紹介します。

科学的リーズニングとは、エビデンスベースで実践し科学的に最善の介入を行う思考様式をいいます。

物語のリーズニングとは、物語を通して世界を理解する思考様式です。例えば、クライアントの語った絶望や苦悩、もしくは達成したい目標など、その視点に立って世界観を理解していく為に考える事をいいます。

実際のリーズニングとは、文脈に合わせて行われる思考様式です。背景要因(作業療法士を取り巻く環境、職場の考え方、組織の理念・方針、医師の理解など)に合わせて支援の方法を判断していく理由付けの事です。

倫理的リーズニングとは、クライアントの利益を最大化するにはどうするかとか、自律を尊重する為にどのように支援を行うとよいかなど良し悪しの判断に関わるものをいいます。

相互交流的リーズニングとは、クライアントと作業療法士のコミュニケーションを通して理解を深めていく思考様式です。作業を経験しその場で即興的に組み立てていく事で、例えば計画通りにいかない事象が発生した時に即興的に調整を行う場合などをいいます。

簡単な説明だったので分かりにくかったと思いますが、ベテランセラピストはこれらリーズニングを自然と組み合わせ作業実践に取り組んでいます。これらの思考過程を言語化し分かりやすく表現できるようになれば、多職種との連携も図りやすくなると思います。

参考文献:「作業療法のリーズニングの教科書」メジカルビュー社



人と人、人とまち、人と作業を繋げる。

まずはお気軽にご連絡ください

☎ 090-5087-3813

別府市リハビリリンク

🔍 検索

